



第1回新丸山ダム水源地域協議会を開催

～ダム水源地域の振興に向けて～

新丸山ダムの工事が今後本格化することから、ダム建設に伴う基盤整備や丸山ダムと工事中の新丸山ダムそのものを活かした観光客の更なる誘致など、水源地域の振興に向けた方策を検討することを目的とする「第1回新丸山ダム水源地域協議会」を8月25日、八百津町ファミリーセンターで開催しました。

会議は、ダムの水源地域2市2町の首長等が出席し、議事の中で、金子政則八百津町長は、「杉原千畝記念館に海外からの来訪者も多く、ダム建設工事の本格化に伴う来訪者の増加に期待しており、海外向けのツアーも考えられると良い。」、渡邊公夫御嵩町長は、「木曾川や中山道を活かした観光コースはどうか。」、小坂喬峰恵那市長は、「リニアへのアクセスとして付替国道418号に対して大きく期待する。」、水野光二瑞浪市長は、「小里川ダムは近場の成功例である。これを分析して検討したらよい。」と地域振興に向けた思いを話されました。

今後は、いただいた意見を参考に地域振興に向けたハード整備とソフト整備の具体的な検討を進めていきます。



水野瑞浪市長



小坂恵那市長



金子八百津町長



渡邊御嵩町長



関西電力(株)
東海支社長代理
荻田総務部長



丸山ダム管理所
下村所長



新丸山ダム工事
事務所川瀬所長